

公益社団法人 日本建築家協会近畿支部大阪地域会

第9回（2024年度）通常総会 議案書

議事

第1号議案 2023年度活動報告承認の件

第2号議案 2023年度決算報告承認の件

第3号議案 大阪地域会長・幹事選任承認の件

報告事項 2024年度事業計画案及び収支予算案報告の件

開催日時：2024年4月22日（月）16：30～17：30

会 場：綿業会館新館2階小会議室（オンライン併用）

第1号議案 大阪地域会 2023年度活動報告承認の件

1. 通常総会（第8回）をオンライン併用により開催

2023年4月19日（水） 大阪地域会＋住宅部会通常総会記念シンポジウム

「ひと・まち・建築を通じた公共性を考える」

パネリスト：坂井信行（地域計画建築研究所）、榊原節子（榊原節子建築研究所）、杉野卓史（安井建築設計事務所）、所千夏（アトリエCK）、松田修平（石本建築事務所）

2. 役員会＋勉強会を開催（全10回）

	講師	テーマ
6月26日	坂井信行 （地域計画建築研究所）	道修町通におけるまちなみ景観づくり
7月24日	榊原節子 （榊原節子建築研究所）	記憶の地図 アートプロジェクト
8月28日	東野晋二 （日本設計）	リビングヘリテージへの取り組み_京都府文化庁移転施設を通して
9月25日	松田修平 （石本建築事務所）	人の集まる場所を目指して_プロジェクトを通じて
10月23日	橋本頼幸 （こま設計堂）	住教育 大阪府住まい・まちづくり教育普及協議会の活動を通して
11月27日	南勝喜 （NAM設計研究所）	マンションの大規模改修
12月25日	多田 将宏 （エムカーヴェー一級建築士事務所）	音の話
1月22日	小笠原絵理 （間工作舎）	1. 元大阪建築部会（現建築倶楽部）建築と子どもたち分科会WS 『千里みらい夢学園サマースクール』活動報告 2. ～ここちいいその人の居場所をつくる～ 『景色に住む』
2月26日	笠井隆司 （アトリエK）	理科大OBと語る会 から
3月26日	杉野卓史 （安井建築設計事務所）	海外での観光・賑わい施設づくり

3. 第42回大阪都市景観建築賞（愛称大阪まちなみ賞）を、大阪府・大阪市・大阪府建築士会・大阪府建築士事務所協会・日本建築協会と共催

・美しく個性と風格のあるまちの景観づくりを進めていくために、周辺環境の向上に資し、かつ景観上優れた「建物」や「建物を中心としたまちなみ」の中で特に優れたものを表彰した。

4. 「大阪府住まいまちづくり教育普及協議会」に参加

・住教育の推進を目的とする活動を行っており、小・中学校の授業への講師を派遣して出前講座を開催した（27校）。

5. 「大阪の住まい活性化フォーラム」に参加

- ・既存住宅流通やリフォーム・リノベーションに関わる民間団体・事業者、公的団体により構成され、既存住宅の質やイメージの向上、安心して住める市場の環境整備の観点から、既存住宅流通・リフォーム・リノベーション市場の活性化を図り、住生活の向上と大阪の地域力や安全性の向上につながる活動を行う組織の運営に参加した。

6. 大阪市環境局「戒橋公衆トイレデザイン・建築設計公募型コンペティション」発注者支援業務の成果の発信方法について協議（近畿支部 JIA サポート事業の一環として）

- ・応募作品の展示と記録冊子の作成について協議
- ・応募作品の展示は生きた建築ミュージアムフェスティバルとの連携を、記録冊子については支部広報誌 Table との連携を想定

7. 「建築相談委員会」の活動

- ・「建築相談室」の運営（対面（月2回）とリモート（月1回）の両方式の併用）
- ・月例委員会での報告、意見交換
- ・JIA 建築相談全国会議への参加
- ・大阪弁護士会 紛争処理委員の推薦
- ・大阪地裁 調停委員の推薦
- ・弁護士を招いた勉強会を開催
令和4年12月9日(金) 大阪弁護士会会館 10階 1001+1002 会議室にて
(ZOOMによるリモート形式を併用)
「報酬トラブルにならないために 設計事務所の契約行為の重要性」
講師：塚元健弁護士(奥山・塚元法律事務所)
- ・裁判官を招いた勉強会を開催
令和5年3月22日(金) 大阪市立総合生涯学習センター第5研修室(大阪駅前第2ビル5階)にて
(対面のみ)
重要な勉強会12「重点監理の範囲と責任」

8. 大阪地域会員に対するニーズ調査を実施

- ・地域会活動の認知度やニーズなどについて会員の意識を把握するためオンラインアンケートを実施
- ・36名から回答（回答率：約13%）

※結果の詳細は別添資料参照

第 2 号議案 2023 年度決算報告承認の件

貸借対照表

2024年 3月31日現在

公益社団法人日本建築家協会近畿支部 大阪地域会

(単位：円)

科 目	合 計
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	1,985,625
未 収 入 金	108,000
流動資産合計	2,093,625
資産合計	2,093,625
II 負債の部	
1. 流動負債	
未 払 金	0
流動負債合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2. 一般正味財産	2,093,625
正味財産合計	2,093,625
負債及び正味財産合計	2,093,625

財産目録

2024年 3月31日現在

公益社団法人日本建築家協会近畿支部 大阪地域会

(単位：円)

科 目	合 計
(流動資産)	
現 金	31,408
普 通 預 金	1,954,217
りそな銀行	1,954,217
未 収 入 金	108,000
流動資産合計	2,093,625
資産合計	2,093,625
(流動負債)	
未 払 金	0
流動負債合計	0
負債合計	0
正味財産	2,093,625

収支計算書内訳表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

公益社団法人日本建築家協会近畿支部 大阪地域会

(単位:円)

科 目	公益会計	法人会計	合 計	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会費収入	72,000	72,000	144,000	
法人協力会員会費収入	72,000	72,000	144,000	協力会員4社(1社入金済み、3社未収計上)
その他の会費収入	0	0	0	
活動運営費収入	620,500	620,500	1,241,000	
地域活動費収入	620,500	620,500	1,241,000	2023地域会費(近畿支部から)
助成金収入	0	0	0	
協賛金収入	0	0	0	
受け取り利息収入	0	15	15	預金利息(りそな銀行)
雑収益	0	0	0	
事業活動収入計	692,500	692,515	1,385,015	
2. 事業活動支出				
事業費支出	659,195	437,065	1,096,260	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信連絡費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	0	0	0	
支払手数料支出	0	0	0	公益事業に関わる振り込み手数料
支払負担金支出	288,430	0	288,430	すまい活性化フォーラム年会費1万、住まいまちづくり協議会負担金10万、あすなる夢建築協賛28,430、まちなみ賞15万円)
会議費支出	0	36,300	36,300	2023総会会場代
諸謝金支出	0	0	0	
委託費支出	370,765	370,765	741,530	2023事務委託費(近畿支部へ)
雑支出	0	30,000	30,000	2023総会来賓懇親会費用負担分
管理費支出	0	0	0	
旅費交通費支出	0	0	0	
通信連絡費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	0	0	0	
支払手数料支出	0	0	0	
会議費支出	0	0	0	
諸謝金支出	0	0	0	
雑支出	0	0	0	
事業活動支出計	659,195	437,065	1,096,260	
事業活動収支差額	33,305	255,450	288,755	
当期収支差額	33,305	255,450	288,755	
前期繰越収支差額			1,998,293	
次期繰越収支差額			2,287,048	

監査意見書

私たち監査は、2023年4月1日より2024年3月31日までの、大阪地域会選出幹事の事業執行と財産状況を監査するため、関係法令、地域会規則、支部規約及び本部定款に従い監査確認を行った結果、次の通り意見を述べます。

1、事業監査

地域会長以下地域会幹事の事業執行については、法令及び地域会規則、支部規約、本部定款に違反する事実はなく、事業報告書の内容は事実であると認めます。

2、会計監査

2023年度の決算報告に関して、提出された財務諸表他は法令、地域会規則、支部規約、本部定款並びに公正妥当と認められる会計の諸原則に従って、地域会の財産、損益の状況を正しく示していると認めます。

2024年4月22日

公益社団法人 日本建築家協会近畿支部大阪地域会

監査 尾崎 久純

監査 中村 正樹

第 3 号議案 大阪地域会長・幹事選任承認の件

	退任	留任	新任 (任期 2 年)
地域会長		坂井信行	
幹 事	榑原節子(再任) 東野晋二(再任) 松田修平 橋本頼幸 村地讓一(再任)	小笠原絵理 笠井隆司 杉野卓史(再任) 多田将宏(再任) 南 勝喜	津田茂 西井洋介 藤本高志 橋本頼幸(再任) 岸下真理
監 査	尾崎久純(再任)	中村正樹(再任)	松田修平

報告事項

公益社団法人日本建築家協会近畿支部 大阪地域会

2024 年度 事業計画案

コロナ禍の経験を経たポストコロナの時代が本格化し、社会のさまざまな場面において新たな展開の萌芽が見られるようになってきています。そうした中、JIA の活動も新たな展開を模索すべき時期に来ているといえます。大阪地域会においても、従来の活動を振り返りつつ、公益社団法人としての社会的な使命を念頭に置きつつ、これまで以上に活動を活性化していくことが求められます。

このため、会員の参画意識の向上を図りつつ、ニーズに合った魅力的な活動の展開を図ります。また、在阪建築関連団体との連携による 2025 年大阪・関西万博に向けた活動や、阪神・淡路大震災から 30 周年を迎えるとともに能登半島地震による復興が本格化していく時期であることを踏まえた安全・安心な社会づくりにおける建築家の役割についての議論と活動への展開を目指すものとします。

1. 正会員の大阪地域会への参画意識の向上と新たな展開方策の検討

- ・地域会活動の活性化のため、大阪地域会員の参画意識の向上を図るとともに、参加したくなる魅力的な活動の展開に向けた方策を検討する。
- ・2024 年度に実施した大阪地域会ニーズ調査の結果を踏まえた議論を進めるとともに、必要に応じてより具体的なニーズを把握するための調査を行うことを検討する。

2. 準会員、協力会員の募集

- ・準会員（ジュニア会員・学生会員）、協力会員（法人協力会員・個人協力会員）の募集を進め、より多くの人材、会社の参加を得ることを目指す。

3. 会員の交流、接点づくり

- ・正会員だけでなく、準会員・協力会員にとっても魅力的な地域会とするため、建築サロン等の開催により相互交流を図る。
- ・支部マスターズ委員会と連携し、若手からベテランまで多様な人材・職域にわたる人々が集まる場づくりに取り組む。
- ・若手建築家や学生の活発な参加を目的に、準会員向けの勉強会・コンペ・ワークショップ等の開催を検討する。

4. 市民、行政、事業者および各地域との協力体制づくり

- ・建築相談委員会は、市民相談に応じる建築相談室を運営し、相談者の諸問題の解決に助言するとともに、欠陥住宅被害再発防止の為に市民啓発を行う。
- ・広報協力等を通して、数々の有意な地域活動を展開する支部建築倶楽部との連携を図る。

- ・大阪府の呼びかけで住教育の推進を目的に設置された「大阪府住まいまちづくり教育普及協議会」へ参加し、小・中学校の授業への講師派遣を進める。
- ・中古住宅流通やリフォーム・リノベーションに関わる民間団体・事業者、公的団体により構成される「大阪の住まい活性化フォーラム」へ正会員として参加し、相談会への協力等を進める。
- ・大阪府、大阪府建築士会、大阪府建築士事務所協会、日本建築協会と締結した「省エネ住宅・建築物の普及啓発の協力に関する協定」に基づき必要な協力等を進める。
- ・社団法人生きた建築ミュージアム大阪が実施する「生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪」への参画などを検討する。

5 「戎橋公衆トイレデザイン・建築設計公募型コンペティション」発注者支援業務の成果の発信

- ・大阪市、支部広報などとも連携しながら、応募作品の展示や冊子等の記録作成と社会的発信を進める。

6. 在阪建築団体との連携

- ・在阪建築4団体の他団体（大阪府建築士会、大阪府建築士事務所協会、日本建築協会）並びに在阪建築15団体の他団体（日本建築学会近畿支部等）と連携した社会貢献・交流活動を展開する。
- ・『Archi-4 KANSAI 提言書』の提言内容の実践について関連団体とも協議を進める。

7. 情報発信

- ・地域会の活動について、支部広報委員会と連携の上、WEBや紙媒体等を通じた情報・記録の発信を進める。

